

地球の「いきいき」のために

環境活動の基本的な考え方と体制

ISO14001に基づく環境マネジメント体制を構築し、事業活動全般にわたる環境負荷削減に取り組んでいます。

宝グループ環境方針

宝グループは、地球環境の保全と事業活動の調和を経営の重要課題のひとつとし、環境マネジメントシステムを構築して継続的な改善に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献します。

1. 環境に関連する法令および組織が同意するその他の要求事項を順守します。
2. 宝グループが行う事業活動のうち、以下の項目について重点的に取り組みます。
 - (1) 環境汚染の予防に努めます。
 - (2) 省エネ・省資源を推進し、持続可能な資源の利用に努めます。
 - (3) 温室効果ガスの排出量を削減し、気候変動の緩和に努めます。
 - (4) 生物多様性や生態系の保護・保全に関わる活動を推進・支援します。
 - (5) 容器包装の3Rへの対応など、環境に配慮した商品開発に努めます。
3. 環境活動への取り組みや環境パフォーマンス情報を積極的に開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。
4. 本環境方針は、教育啓発活動を通じて宝グループの全構成員に周知するとともに、社員の社会貢献活動への参加を積極的に支援します。

2017年6月13日

宝ホールディングス株式会社 取締役社長 柿本 敏男

地球の「いきいき」のために

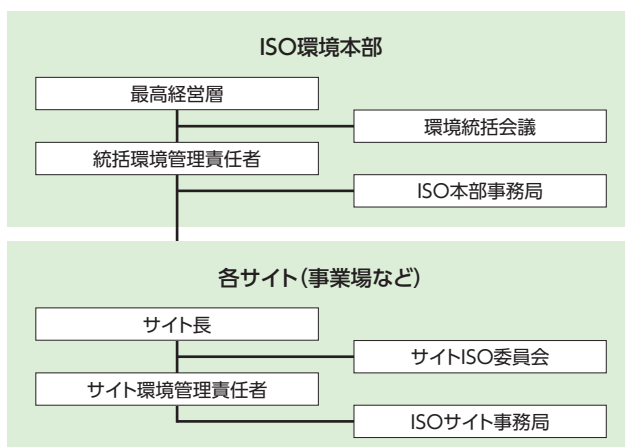
宝グループ環境マネジメントシステム

ISO14001に基づく環境マネジメント体制を確立

宝酒造の全工場、全支社、本社、および宝ホールディングス株式会社、トータルマネジメントビジネスの本社で、ISO14001の認証を取得しています。

ISO環境本部を中心に、経営と直結した目標に向かって活動しています。

● 宝グループ環境マネジメント体制



環境関連法規の遵守状況

定期的に遵守状況をチェック

ISO14001のシステムを有効に利用して定期的なチェックを実施し、法規の遵守状況を確認しています。また、環境汚染の未然防止の観点から、自主基準を設定しています。

なお、2016年度は環境関連法規に関する違反事項はありませんでした。

主要な環境関連法規

- 公害関係法規 (水質汚濁防止法など)
- 廃棄物処理関係法規 (廃棄物処理法など)
- 化学物質管理関係法規 (PRTR法、毒物劇物取締法など)
- リサイクル関連法規 (容器包装リサイクル法など)
- 省資源関連法規 (省エネ法など)
- 防災・危険物関係法規 (消防法など) など

1: ISO14001、9001取得年表 2: ISO14001 2016年度の結果

宝酒造の環境活動

宝酒造は、穀物や水、微生物など自然の恩恵を受けて酒類や調味料、酒精といった幅広い事業を行っています。このため、豊かな自然環境が保たれることは、当社が存続する上での大前提となります。一方、当社の商品は、ガラスびんやPETボトル、紙パック、アルミ缶などの容器に詰めて販売します。商品が消費された後に発生する空容器は、社会に大きな環境負荷を与えています。以上の理由から、当社とのかかわりが深い「自然保護」と「空容器問題」への取り組みを環境活動の2本柱と位置付けてきました。

「自然保護」では、1979年にスタートしたカムバック・サーモンキャンペーンをはじめ、1985年に設立した公益信託「タカラ・ハーモニストファンド」、2004年開校の宝酒造「田んぼの学校」など、30年以上にわたりさまざまな活動に取り組んでいます。

「空容器問題」では、容器の3R (Reduce・Reuse・Recycle) を考慮した商品開発を進めるとともに、当社独自の取り組みとして、新たな容器を必要としない焼酎のはかり売り (Refuse) を加えた4Rの取り組みを推進しています。また、2012年より環境教育プログラム宝酒造「エコの学校」を開校しています。

宝酒造は自然と社会と人間との調和を大切にしています

